



# 指導案づくりについて

令和2年度  
那覇市教育委員会

各教科等において育成を目指す資質能力の三つの柱を明確にし、各教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら考えを広げたり深めたりするために、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を進める。

- ①「知識・技能」の習得
- ②「思考力・判断力・表現力等」の育成
- ③「学びに向かう力・人間性等」の涵養

＜主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善＞

○学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って、粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「**主体的な学び**」が実現できているか。

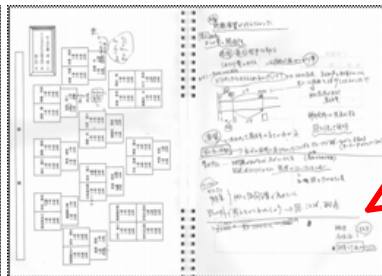
○子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「**対話的な学び**」が実現できているか。

○習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「**深い学び**」が実現できているか。

各学校におかれましては、下記の視点に留意して、指導案作成をして下さい。

## 1 「教材研究」の充実 ○指導案は板書計画を含め4ページにまとめる。

深い教材研究は マイノートに記録する。



- ・日々の授業でのメモ
- ・教材教具の準備
- ・予想される児童生徒の反応例
- ・板書計画
- ・発問
- ・事前事後指導 等

「3 単元について」を充実させる。

資質・能力を身につけさせるために  
どのような実態の子ども達に（児童生徒観）  
どのような教材の価値を（教材観）  
どのような手立てを講じていくか（指導観）

単元研究 詳細情報表		単元研究 概要表	
単元名	単元研究の目的	単元研究の概要	単元研究の成果
1. 単元研究の目的			
2. 単元研究の概要			
3. 単元研究の成果			

## 2 展開の工夫 ○マイノートからポイントを絞り、まとめる。

- 授業のめあて・身につけたい力を明確にする
- 授業の「めあて」に正対した「まとめ」、「学習の振り返り」を確実にを行う
- 書く活動、かかわり合う活動を取り入れる
- 指導形態の工夫 ペア学習、グループ学習
- ICTを活用した授業の工夫
- 教科を横断した視点での授業の工夫

## 3 学習評価

「児童生徒にどういった力が身に付いたか」という学習の成果を的確に捉え、教師が指導の改善を図るとともに、児童生徒が自ら学習を振り返って次の学習に向かうことができるようにする。

**形成的評価** 個々の児童生徒や学習集団の理解度などを確認する

**総括的評価** 評価規準を踏まえて学習状況を総括し、観点別評価を行うために記録する

参考資料：「小学校・中学校 学習指導要領 各教科解説」 文科省（現…(中)H20.9、新…(小)H29.7・(中)H29.7）  
「沖縄県学力向上推進5か年プランプロジェクトⅡ」 沖縄県教育委員会（R2.3）  
「R2年度版『問い』が生まれる授業サポートガイド」 沖縄県教育委員会（R2.3）  
「ふくぎ じんぶな～プラン」 那覇市教育委員会（H31.4）  
「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する資料 文科省（R2.3）